

令和4年2月2日  
交流推進担当部  
交流推進担当課

## 東京農業大学との包括協定締結について

### 1 主旨

区は、総合戦略の基本目標にある「地域人材と社会資源を活用した活力ある地域社会の構築」の実現に向け、大学の持つ専門性や地域資源を活かしながら、大学と相互に連携・協力するネットワークの強化を進めている。

区と東京農業大学は、これまでも各々がもつ資源や特色を活かしながら様々な事業を実施しており、今後も一層連携・協力した取組みを進め、地域社会の持続的な発展に資するため包括協定を締結する。

### 2 経緯

東京農業大学は区内唯一の農業大学であり、川場村における区民健康村事業への協力や災害時・水防における避難所としての施設利用、世田谷産農産物を利用した加工品開発、地域イベントへの参加等様々な交流活動や連携事業を実施してきた。こうした中で、世田谷キャンパス以外のキャンパスとの連携等相互のネットワークを活かし、さらなる地域協働事業等の充実・発展を目指すため、区は東京農業大学に対して、包括協定締結を要請した。

### 3 協定の主な内容及び期待される取組み

#### (1) 主な内容

- ① 人的交流の促進
- ② 知的・物的資源の相互活用
- ③ 調査研究及び事業の共同実施

#### (2) 期待される取組み

- ① 東京農業大学オホーツク校との区内産業連携
- ② 豪雨対策としてのグリーンインフラへの大学の知見を用いた協力
- ③ 海洋プラスチックに関するごみ問題への大学の知見を用いた協力
- ④ 農業体験機会の拡充や農業問題への解決に向けた考察等の協力
- ⑤ 食品ロス等への取組み協力
- ⑥ 農学の体験を通じた、生命や食料等の探求的な思考を育む事業の実施
- ⑦ 区と川場村、(株)世田谷川場ふるさと公社と連携した区民健康村事業の実施

### 4 協定締結等

#### (1) 相手方

東京農業大学（世田谷区桜丘1丁目1-1）  
代表者 東京農業大学 学長 江口 文陽

## (2) 協定名

「東京農業大学と世田谷区との包括連携協定書」

## (3) 有効期間

協定締結の日から5年間とする。

ただし、有効期間が満了する日の1箇月前までに異議の申し出がないときは更に5年間延長とする。

## (4) 協定締結日

令和4年3月14日

## 5 連携・協力実績

別紙1のとおり

## 【参考】

## ○東京農業大学の概要

学生数：12,394人（令和3年5月1日現在）

特色：1891年の創設以来動植物すべてにかかわる総合科学を扱う大学として実学主義のもと発展。応用生物科学部、地域環境科学部など6学部23学科を擁する。

キャンパス：世田谷キャンパス、厚木キャンパス、北海道オホーツクキャンパス

## ○これまでの包括協定締結大学 10大学（学部）

締結日	大学名	締結日	大学名
平成26年5月28日	昭和女子大学	平成28年3月29日	明治大学
平成26年6月20日	日本体育大学	平成28年5月19日	産業能率大学
平成26年7月25日	日本女子体育大学	平成29年5月19日	日本大学スポーツ科学部
平成27年3月30日	東京都市大学	平成30年7月2日	日本大学文理学部
平成27年7月7日	成城大学	令和2年3月16日	駒澤大学

## 東京農業大学と世田谷区との連携協力に関する実績（平成30年度～令和2年度）

別紙 1

※令和2年度実施事業について、新型コロナウイルス感染症により中止している事業があります。

### ①【人的交流の促進に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
1	ふれあい飯ごう炊さん会	青少年経堂地区委員会主催事業。4小学校児童が、飯ごう炊さん（カレーライス・焼芋）飯ごうで調理、実食する。 東京農業大学生がボランティアとして参加し、児童の指導や食事や片付けを実施している。 ※4小学校：桜丘小学校、笹原小学校、世田谷小学校、経堂小学校	【平成30年度】 11月11日に10名の農経会学生が参加  ※農経会：食料環境経済学科すべての学生・大学院生・教職員からなる組織
2	せたがや梅まつり	梅まつりの催し物の一環として、舞台において東京農業大学の落語研究会の発表を実施している。	【令和元年度】 令和2年2月22日実施
		梅まつりの催し物の一環として、テントにて子ども向けのワークショップ等を実施している。	【令和元年度】 大学生参加数 2月11日・・・5名（ジャグリング体験コーナー） 2月16日・・・5名（ジャグリング体験コーナー） 2月24日・・・12名（でんでんたいこ制作のワークショップ）
3	メンタルフレンド派遣事業	学校への不適応を示し、家に閉じこもりがちな児童・生徒の家庭に兄や姉のように接する学生ボランティアを派遣し、児童・生徒の自主性の伸長や社会性の発達を促す。	【平成30年度】 東京農業大学の登録学生1名の派遣  【令和元年度】 東京農業大学の登録学生2名の派遣
4	地域環境美化清掃活動	青少年経堂地区委員会、経堂地区身近なまちづくり推進協議会、経堂地区社会福祉協議会・東京農業大学農経会が共催で実施する清掃活動。 経堂駅・千歳船橋駅を起点に、9コースに分かれて東京農業大学までを清掃。回収したごみは農大方式で分別後リサイクル等を実施している。	【平成30年度】 秋実施。農経会より約50名の学生が参加  【令和元年度】 12月8日（日）に開催し、農経会より26名の学生が参加
5	ごみ減量・リサイクル啓発事業	梅まつりの官公署PRコーナーにおいて、学生の環境問題に関するPR・発表をするとともに、地元住民が実施しているごみ減量・リサイクルに関する啓発事業に学生が参加している。	【平成30年度】 2月23日実施（学生8名参加）  【令和元年度】 2月15日実施（学生14名参加）

## ①【人的交流の促進に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
6	ふれあいドッジボール大会	青少年経堂地区委員会主催事業。地区内4小学校児童参加のドッジボール大会。東京農業大学生がボランティアとして参加し、審判等を行う。 ※4小学校：桜丘小学校、笹原小学校、世田谷小学校、経堂小学校	【平成30年度】 3月3日に実施 6名の学生が参加
7	桜丘中学校避難所運営訓練	桜丘中学校、桜丘中学校避難所運営委員会が主催の避難所運営訓練に東京農業大学農友会体育団体の学生が訓練に参加している。	【平成30年度】 10月21日（日）に農友会体育団体より21名の学生が参加  【令和元年度】 10月20日（日）に農友会体育団体より19名の学生が参加  ※農友会：全学生・教職員が会員の部活動や課外活動を中心に支援する組織
8	せたがや国際交流ラウンジ	区内在住留学生在がファシリテーターとして参加し、各テーマに対する母国と日本との比較をプレゼンテーションするとともに、参加者との意見交換を通じた交流を図る。	【令和元年度】 年4回開催 延べ4名の留学生在が参加
9	せたがや国際メッセ	多文化共生社会構築に向けた今後の取組みについて考えるきっかけづくりとして、多文化を知り・触れる機会である国際交流イベント。留学生在が参加し、ステージイベントや英会話を通じ、区民との交流を図る。	【平成30年度】 平成30年11月27日開催 English Tableや「区内大学留学生によるステージイベント」に1名の留学生在が参加
10	区登録有形文化財「旧清水家住宅書院」呈茶サービス事業	文化財建造物をより親しみやすい施設にするため、区登録有形文化財「旧清水家住宅書院」において、区民の憩いの場として東京農業大学茶道部、OB・OGがお茶たてや販売を行う。	【平成30年度】 年4回実施 各回5名程度の学生が参加  【令和元年度】 年4回実施

## ②【知的・物的資源の相互活用に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
1	災害時における協力体制に関する協定書	災害が発生した場合に、避難所として大学施設の利用や学生・教職員ボランティア派遣等、区民、在学在勤者等の安全確保、生活復興等の応急対策を迅速に推進するための協定を締結している。	本協定が定める、地震等の大規模災害が発生しなかったため、実績なし。
2	福祉避難所（母子）	災害が発生した場合に、妊産婦・乳児の安全確保のため、区の要請に基づき、協定を締結している東京農業大学において福祉避難所を開設する。 また、平常時において、区と意見交換会、講演会及び図上訓練（グループワーク）を実施している。	<p>【平成30年度】 福祉避難所（母子）の開設・運営マニュアルの検討を目的として、福祉避難所（母子）に関する講演会と図上訓練（グループワーク）を実施。</p> <p>【令和元年度】 福祉避難所の運営体制の構築と連携を深めることを目的として、意見交換会を令和元年7月3日に実施。 教職員2名が参加</p> <p>【令和2年度】 福祉避難所の運営体制の構築と連携を深めることを目的として、講演会及び意見交換会を令和2年12月19日に実施。 教職員2名が参加</p>
3	土と農の交流園通年講座・公開講座	野菜づくり等を通して高齢者が土に親しみ、その余暇活動の充実を図るとともに、地域住民及び世代間交流の場を確保し、豊かな地域社会形成に寄与することを目的に実施する。	<p>【平成30年度】 （通年講座）年間112回延べ3,808名の地域住民が受講 （公開講座）年間12回延べ580名の地域住民が受講</p> <p>【令和元年度】 （通年講座）年間112回延べ3,808名の地域住民が受講 （公開講座）年間12回延べ442名の地域住民が受講</p> <p>【令和2年度】 （通年講座）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止。代替措置として、圃場管理ボランティアを実施。 年間32回延べ348名の地域住民が参加 （公開講座）年間12回延べ268名の地域住民が受講 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部人数を減らして実施</p>

## ②【知的・物的資源の相互活用に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
4	夏季教科等研修	区立小中学校教員の研修会場の提供	<p>【平成30年度】 平成30年8月20日から8月24日まで実施</p> <p>【令和元年度】 令和元年8月19日から8月27日まで実施</p>
5	大学等教育機関との連携	<p>基本協定に基づき「区内大学と世田谷区教育委員会との教育活動等支援事業に関する覚書」を締結し、区立幼稚園、区立小・中学校の教育活動等支援のため平成17年9月より学生派遣を開始。 派遣対象となる教育活動 ①学級運営の支援、②学校行事等への支援、③部活動における技術指導、④配慮を要する児童・生徒への支援</p>	<p>【平成30年度・令和元年度・令和2年度】 学級運営の支援、学校行事等への支援、配慮を要する児童・生徒への支援、部活動における技術指導へ学生が参加。</p>
6	環境エネルギー・ラポ in せたがや	<p>環境エネルギーに関する子ども向けワークショップの運営、新しい環境技術やエネルギー施策の紹介等を実施。大学の強みを活かし、ワークショップの運営やイベント全体をサポート。学生の職業意識の醸成や、区政に対する理解促進を図っている。</p>	<p>【平成30年度】 7月21日（土）、7月22日（日）に世田谷文化生活情報センター・三軒茶屋ふれあい広場で実施。2日間合計で、10名の学生が参加し、ワークショップを運営。</p>
7	世田谷リカレント学習連携事業	<p>東京農業大学が実施する公開講座を一覧にまとめ、世田谷区のホームページからアクセスできるようにし、区民等に学習の機会を提供する。</p>	—

## ②【知的・物的資源の相互活用に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
8	せたがやeカレッジ	<p>区内6大学と世田谷区教育委員会で連携し、インターネットを活用したeラーニングサイトを運用。参加大学の特色あるコンテンツを作成し、区民等に学習の機会を提供する。また、公開講座を実施し、せたがやeカレッジを広く周知するとともに、学習の機会を広げる。</p> <p>6大学：国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都市大学、東京農業大学</p>	<p>【平成30年度】 10月1日よりウェブサイトを更新し、講座を公開中。 リニューアルに併せてチラシを2100部作成し、大学・教育委員会で配布を実施。</p> <p>せたがやeカレッジHP公開講座 【平成30年度】 30年9月14日「日本近代化に尽力した榎本武揚から学ぶ地方創生のヒント」 31年3月25日「香りの科学と美学①②③④」</p> <p>【令和元年度】 令和2年2月6日「地域創生ひと育て・まち育て実践講座～前編・中編・後編」 令和2年2月7日「中山間地域の現状と課題～熊本県山都町を事例に～」</p> <p>【令和2年度】 令和2年11月12日「愛犬という、奇跡のパートナー～目指せ、100点飼い主～」 令和2年11月24日「ウィズ・コロナの今こそ見直したい植物・園芸が人に与える影響」</p>
9	大学図書館の区民利用	<p>基本協定に基づき「区内大学と世田谷区教育委員会との大学図書館の世田谷区民の利用に関する覚書」を締結し、専門書等について、大学図書館の区民利用を進めている。</p>	—

### ③ 【調査研究・事業の共同実施に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
1	管理栄養士養成施設公衆栄養学実習	管理栄養士の配属されている課で公衆栄養学の実務研修として学生の実習を実施している。	<p>【平成30年度】 実施。</p> <p>【令和元年度】 令和元年9月～12月に集中講義、グループワーク、実務体験の計6日間で実施。実務体験は各総合支所健康づくり課にて2～3人を1組として実施。 実24名の学生が参加 延144名</p> <p>【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集中講義は紙面開催とし、グループワークは中止。令和2年9月～12月に各総合支所健康づくり課受入れを学生1名につき1日とし、2人1組で実施。 実26名の学生が参加</p>
2	世田谷産農産物を利用した加工品開発	平成31年（2019年）3月に策定した「世田谷区農業振興計画」に基づく新たな農業ビジネスの展開に向け、世田谷産農産物を活用した加工品を開発・製造・販売するモデルケースをつくることにより、区内農業者や事業者に新たな農業ビジネスの提案を行うとともに加工品の開発により世田谷産農産物のより一層の周知を図る。	<p>【令和2年度】 世田谷の地場野菜かつ江戸東京野菜にも登録されている「大蔵大根」を利用したアイスの開発を東京農業大へ委託。試作品の作成を実施。</p>
3	外食の栄養成分表示推進	区民の健康づくり推進の一環として、飲食店などに対して外食の栄養成分表示や食や健康に関する情報提供を行っている。	<p>【平成30年度】 ワーキング形式により、食や健康に関する情報を掲載した飲食店などに配るポスターを作成。</p> <p>【令和元年度】 令和元年8月28日（水）、9月25日（水）、10月2日（水）午後、10月16日（水）午後にワーキング形式で実施。 24名の学生が参加</p>



### ③ 【調査研究・事業の共同実施に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
4	世田谷ガリレオコンテスト	区立中学校において、豊かな発想と創造力に富んだ夢のある研究を広く募集し、コンテストによる発表を通して、より研究を深め、区立中学生の科学への興味や関心を高めるとともに、科学を学ぶ喜びや意欲を育てる。	<p>【平成30年度】 平成31年1月26日（土）開催 コンテスト審査委員等及び賞品の提供</p> <p>【令和年度】 令和2年1月25日（土）開催 コンテスト審査委員各1名及び賞品の提供</p> <p>【令和2年度】 令和3年1月23日（土）開催 （一般参加者向けにはオンライン形式で配信） コンテスト審査委員各1名及び賞品の提供 研究作品発表の後、教授による講演会を実施</p>
5	教職実践演習（現地演習）	教員採用試験に合格し、卒業後教職に就く予定の学生に対して、教員として最小限必要な実践的指導力を育成するための現地演習を区立学校にて実施している。	<p>【平成30年度・令和元年度・令和2年度】 11月下旬から2月中旬の5日間。5名程度の学生が参加</p>
6	新・才能の芽を育てる体験学習	幼稚園・保育園、小・中学校の児童・生徒が自らの才能・個性に気づき、将来の夢や目標を発見し、たくましく成長することを目的とした体験学習。各界の第一線で活躍する講師を迎え、普段の授業や生活では経験できない内容の講座を実施している。	<p>【平成30年度】 自然体験講座（全3回） ・コケ玉づくりで研こう造園感性！～キミも「緑」のアーティスト（土やコケ、麻紐を使ったコケ玉づくり） ・ミクロ探検隊（大学所有の電子顕微鏡を使用した10万倍率での植物等の観察） ・パンはなぜふくらむ？～小麦粉のひみつ～ （パンに必要な材料を組み合わせ、様々な実験を行う）</p> <p>【令和元年度】 自然体験講座（全3回） ・ミクロ探検隊（平成30年度同様） ・生き物の色や形の意味を考えよう （生き物ごとに色が違う理由を学び、変色できるか実験を行う。また、大学で飼育している動物に触れる） ・本当のジュースってどんなもの？～ジュースを科学的に見てみよう～ （果実など、様々な材料を組み合わせたジュースの作成）</p>

## ③ 【調査研究・事業の共同実施に関すること】

No	事業名	事業概要	連携実績
7	二子玉川公園における連携	二子玉川公園内での調査業務及び管理運營業務に関して、公園を魅力的なものとしていく活動を学生と連携して行う。	【平成30年度・令和元年度・令和2年度】 帰真園の手入れを実施。 ・植物の移植 ・池泉の石の再配置 ・枝の選定
8	せたがやガーデニングフェア	学生による見本庭園の作成・展示（1区画約10㎡）を行っており、見本庭園の作成・展示及びイベントへの参加を通して、大学で学ぶ造園技術の実践・習得を図り、また発表PRを実施している。	【平成30年度】 学生による見本庭園の作成・展示を実施  【令和元年度】 学生による見本庭園の作成・展示を実施 展示会場：世田谷公園 学生規模：1団体参加
9	世田谷区大学生食育プロジェクト	学生が食の体験とともに“食”に関するワークショップを開催し、同世代に向けた「食の重要性」の普及啓発に向けた情報発信の方法を検討し、インターネットを活用した周知を実施している。	【平成30年度】 年間3回実施  【令和元年度】 平成30年度作成した『世田谷区オトナになるための食育プロジェクト「スマートなオトナ目指さない？」』で提案された「具材ましましみそ汁」のレシピを大学生が作成し、クックパットに掲載。 延17名の学生が参加 「飲むサラダみそ汁」 うま味の極み「老若男女みそ汁」 令和元年12月19日（木） 令和2年1月9日（木）

## ④【その他、地域社会の持続的な発展に資する連携・協力】

No	事業名	事業概要	連携実績
1	世田谷で学び、世田谷で働こう！合同企業説明会	<p>6大学コンソーシアムとの連携により合同企業説明会を実施し、学生に区内中小企業の魅力を発信することで就職先として検討する機会を創出している。</p> <p>6大学：国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都市大学、東京農業大学</p>	<p>【平成30年度】 参加者33名、参加企業12社</p> <p>【令和元年度】 参加者7名、参加企業13社</p>
2	イベントボランティア	12月2日の東京2020オリンピック競技大会開催600日前イベントにて学生が馬術競技の展示ブースの対応を行う。	【平成30年度】 馬術部員2名が参加
3	区民健康村事業	<p>① 川場村で開催している健康村里山自然学校（里山塾（年7回）、こども里山自然学校（年2回）、まるごと川場まるごと滞在記（年2回）に、東京農業大学の学生がスタッフとして参加。</p> <p>② 健康村事業の創設時より、東京農業大学の学生による川場村での森林の保全活動が始まった。現在では、区民健康村（ふじやまビレッジ・なかのビレッジ）を利用して、学生のオリエンテーション、実技実習、調査研究などを、川場村内の各地をフィールドにして随時実施している。</p> <p>③ 川場村における東京農業大学の活動がきっかけとなり、平成24年に東京農業大学と川場村と清水建設と「元気なふるさとづくり」協定を締結した。それにより、村の森林などの地域資源や再生可能エネルギーを活用した取組みが始まり、平成28年に区と川場村が自然エネルギー活用による発電事業に関する連携・協力協定を締結した。</p>	<p>① 【平成30年度】 延べ51名の学生がスタッフとして参加 【令和元年度】 延べ84名の学生がスタッフとして参加 【令和2年度】 延べ10名の学生がスタッフとして参加</p>